

神戸学生青年センター センターニュース

KOBE STUDENT YOUTH CENTER NEWS No.110

No.110

発行所 (公財)神戸学生青年センター
理事長 飛田 雄一
館長 朴 淳用

〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22
TEL (078)891-3018 FAX (078)891-3019
Yahata-cho 4-9-22, Nada-ku
Kobe, 657-0051 Japan

E-mail: info@ksyc.jp
U R L https://ksyc.jp

困難を抱える女性と子どもたちが
「ここにしか住めない」ではなく
「ここに住みたい」と思える
住まいをつくりたい



認定NPO法人
女性と子ども支援センター
ウィメンズネット・こうべ
代表理事

正井 禮子

1992年に女性の人権を守り、ジェンダー平等社会の実現をめざしてウィメンズネット・こうべを立ちあげ、今年で30年になります。記念事業として、コープこうべの旧女子寮を改修し、神戸学生青年センター様と共同で「六甲ウィメンズハウス」をつくりたい。

何故、ウィメンズハウスをつくりたいと思ったのか？

94年に女性たちのエンパワメントをめざして「女たちの家」を開設し、さまざまなテーマで語り合いを続けていましたが、夫からの暴力に悩む女性の声を聞き、会報に「500円で誰でも泊まれます」と案内すると、女性たちが相次いで駆け込んでこられました。DVという概念もシェルターという言葉も知りませんでした。駆け込み寺も活動の一つになるのかなあと思いました。翌年1月17日に震災があり「女たちの家」は閉鎖。女性支援ネットワークを立ちあげ、被災女性の支援に取り組み、震災以降はDV被害女性支援がメインの活動となり、04年には民間シェルター「ともだちの家」を開設し今日に至っています。

支援活動を通して、母子ともに心の傷が深いこと、その後の貧困や孤立を知り、2013年に神戸市内に居場所としてWACCA(わかか)を開設。困難を抱える女性と子どもの心の回復と生活再建に向けた支援を行っています(現在2か所)。被害者支援は、孤立させないことから始まります。シェルターを開設して以来、女性たちのその後の家探しも支援のひとつでした。しかし、保証人もいない、所持金も乏しい、低収入に加えて子連れという女性たちに紹介される家は、多くが、狭くて古く日当たりも悪い「ここにしか住めないのか」とため息がでるような家でした。

私は2010年、居住福祉を考える研究者とともに訪

問したデンマークで、女性と子どもが住む家を見学し、外観は古い建物ですが、内部はデザイナーズマンションか!と思わせるほど美しく、広いリビング、プレイルームやカウンセリングルーム、キッチンに驚きました。困難を抱える女性と子どもが「ここにしか住めない」ではなく「ここに住みたい」と思える住まいを日本でもつくりたいと強く思ったのでした。2019年に居住支援法人の資格を取り、シングルマザー(離婚前の女性も)等、住宅取得が困難な女性を対象に居住支援(相談や同行支援)を行い、1年目は40件、去年は98件に対応しました。

NPOと企業が連携し、社会貢献の建物をつくる仕組みは海外では広がりつつあります。日本ではまだまだ少ないので、私たちの事業をモデルとして全国各地に広がることを願っています。現在、神戸学生青年センター様と共同で、クラウドファンディングに挑戦しています。12月22日締め切り。ご支援と情報拡散よろしくお願ひします!(集まった金額は全て寄付されます)



クラウドファンディング挑戦中

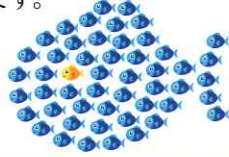
目標金額
3,000万円
12/22まで

六甲
ウィメンズハウス

困難を抱える女性や母子が
安心して自立へと歩み出せる「住まい」をつくりたい!

センターの50周年記念誌を作っています

センターは今年で創立50周年をむかえました。これまでの記録などをまとめた50周年記念誌をたぐいまる作成中で、1月始めには出来上がる予定です。販売(¥1,100、Amazonでご購入いただけます)を予定していますので、お手に取っていただくと幸いです。



50周年記念誌表紙

林賢宜さんの韓国料理教室

9月はいかフェ、宮廷トッポギ、10月はえごまの葉のしょうゆ漬け、韓国のみそチゲ、11月は干し明太魚の和え物、じゃがいも入りすいとんを学びました。林賢宜先生のお話も魅力の教室です。2月は人気のキムチの作り方を学びます。ご参加お待ちしております。



9・3 韓国料理セミナー

古本市開催中

今年1/22～、センター本館3Fロビーで六甲奨学基金のための古本市を常設開催しています。11月末までで220万円をこえる売上となっています。みなさまのご協力のおかげです。ありがとうございます。本は随時募集しております。今後ともご協力お願いいたします。



12.5 古本市

高作先生と学ぶ会

2014年6月、小谷美智子さんを中心にスタートした勉強会、初回のテーマは、「憲法の危機と沖縄ー辺野古・普天間・高江が問う平和」。その後継続的に有志によって開催されていた勉強会ですが、昨年度より学生センター主催のプログラムとして再スタートしました。

毎回、高作正博先生(憲法学、関西大学教授)と相談しながら、時々のテーマをとりあげてきました。センターホームページに全記録がありますが、2018年(全7回)の各テーマは、以下のとおりです。

安倍政権の過去・現在・未来、「米軍基地爆音訴訟の現在」を知る、「押しつけ憲法論」と日本国憲法の正当性、公権力によるプライバシー情報の収集・集積と共謀罪社会、改憲勢力が狙う家族制度ー「LGBT」「生産性」発言の背後にあるもの、「個人の尊重」と幸福追求権ー強制不妊手術の憲法問題、不起立訴訟の現在。

前回11.19のテーマは、「11.19 米軍基地の環境問題と表現の自由」。年度内は、来年1.21(土)、「戦争被害と憲法上の補償(仮)」です。充実した勉強会が続いています。ぜひご参加ください。



11.19 高作正博さん

朝鮮史セミナー

「兵庫の朝鮮人の歴史をととも学ぶー朝鮮人強制連行の現場・甲陽園地下壕発見から35年ー」(全2回)を開催しました。講師は、兵庫朝鮮関係研究会の徐根植さんとむくげの会の堀内稔さん。1987年11月、西宮市甲陽園で地下工場跡が発見されました。発見されたのは鄭鴻永さん(2000年1月死亡)。「米国戦略爆撃報告書」に甲陽園地下工場の記録があり、鄭さんはこれに注目していました。宅地開発工事が進められたときに、地主の許可をえて中に入り、壁に残された「朝鮮國獨立」「緑の春」の文字を発見しました。発見から35年となる今秋、改めてこの事実に向き合うセミナーとなりました。(鄭鴻永著「歌劇の街のもうひとつの歴史ー宝塚と朝鮮人」(1997.1 神戸学生青年センター)はアマゾンで購入できます。)

講座は、①「鄭鴻永さんの甲陽園地下壕発見、その後」徐根植さん、②「戦前(解放前)の兵庫における朝鮮人労働者の闘い」堀内稔さん。充実した内容のセミナーとなりました。



10.27 徐根植さん



11.10 堀内稔さん



会議室A(本館ウエスト100)

会議に... セミ・会議・講演会に

ご予約は12か月前より ☎078-891-3018

会場利用料金(1時間ごと)



スタジオB(ノース10)

■ウエスト100(本館)

部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
ホール(2F)	60名	90㎡	2,200円	1,760円
会議室A(1F)	36名	60㎡	1,650円	1,320円
サロン室(1F)	20名	40㎡	1,650円	1,320円
会議室B(4F)	18名	25㎡	1,100円	880円
和室(4F)	12名	20㎡	1,100円	880円

※ホール：グランドピアノ3,900円/回
会議室A：グランドピアノ2,200円/回
プロジェクター2,200円、マイク550円/本

■ノース10(北館)

部屋名	定員数	広さ	料金(一般)	料金(学生)
スタジオA	24名	35㎡	1,650円	1,320円
スタジオB	24名	30㎡	1,375円	1,100円
スタジオC	12名	20㎡	1,100円	880円

※スタジオA：アップライトピアノ1,100円/回、プロジェクター2,200円

- 準備、あとかたづけを含め、すべて利用時間内に行ってください。
- キャンセルをされる場合は必ずご連絡をお願いいたします。
- 連絡なく利用されなかった場合は利用料の100%、当日キャンセル80%、前日のキャンセル50%、前々日までのキャンセル無料です。
- 営業目的の会場利用は一般料金の倍額となります。
- 当館には駐車場がありません。ご了承ください。

事務所はウエスト100(本館)



ウエスト100 〒657-0051 神戸市灘区八幡町4丁目9-22

ノース10 〒657-0065 神戸市灘区山崎3丁目3-1 六甲駅前ビル4F

- 阪急六甲より徒歩1分
- JR六甲道より徒歩10分

食料環境セミナー

9月は、5月にご講演して頂いた神戸大学大学院農学研究科の星信彦さんより「農業再評価とみどりの食料システム戦略の問題」をテーマにお話して頂きました。前半はネオニコチノイド系農薬等による人体への被害を色んな事例を用いて説明して頂きました。後半は国の農業政策として「みどり



9.17 星信彦さん 10.15 小泉昭夫さん 11.19 前川進介さんの食料システム戦略」について現状と課題を具体的に説明して頂きました。2050年までに目指す姿としてCO2ゼロエミッション化の実現や化学肥料の使用量30%低減、有機農業面積25%に拡大などが盛り込まれているが、どのようなプロセスで実現させるかについて国の政策を検証する時間を頂きました。大幅に時間を延長して説明して頂きありがとうございました。

10月は社会健康医学福祉研究所所長の小泉昭夫さんより「永遠の化学物質PFASの環境汚染リスクとどう向き合うか」をテーマにお話して頂きました。新たな環境汚染物質PFOAとPFOS、PFHxSについて科学的な説明から人体への影響や健康リスクとして発がん性、胎児や新生児への影響などについて説明して頂きました。大阪府下のPFOAによる土壌汚染地域調査等を通じて明らかになった改善すべき点として、水道水の基準の見直し、土壌汚染対策、地下水汚染に対する基準と除染の必要性について説明して頂きました。

11月は丹波市議会議員の前川進介さんより「有機の里丹波市が抱えるごみ減量化問題～そのゴミは本当にゴミなのか～」をテーマにお話して頂きました。丹波市の燃やすごみ袋は兵庫県下で最も高額な80円である。燃やすごみ袋の半額化よりも先に、燃やすごみの減量化に取り組むべきであることに着目し、資源化へのいろんな工夫を紹介して頂きました。目先のごみ減量問題の裏面には、行き過ぎた資本主義がもたらした大量消費社会があり、その社会の弊害を克服するためには、食とエネルギーと教育の自給自足が必要で、食料・飼料・肥料・燃料の4つの「料」を手に入れるために前川さん自ら実践している生活の面々を紹介して頂きました。最後にニワトリの卵をお土産として頂きありがとうございました。

農塾

2022年第25期目を迎えた農塾では、月1回生産者が登場して農業の道を選んだ理由、農業を通じて得られた喜びや地域で行っている活動などについてお話して頂いています。月1回の開催として1名の生産者が自分の農場から収穫した農産物を農塾の開催日に販売しております。販売時には農産物の食べ方や調理方法も教えて頂いています。



9月は社会福祉法人すばる福祉会の西定春さんより、施設の利用者と一緒に関わった場所で行っている農業についてお話して頂きました。ヤギとニワトリの話や食パンとクッキー類をつくるようになった経緯などについてお話して頂きました。

10月は園北ファームの大岸靖則さんより、大阪南部で栽培していた門真れんこんの話から、地元尼崎に戻り、園北ファームを立ち上げ、地域住民と交流しながら今行っている自然農法のお話を聞かせて頂きました。きょうりの生命力を写真で見せて頂いた時にはその生命力にビックリしました。

11月は株式会社口果報の西岡直哉さんより、大手メーカーの情報システム管理やITベンチャー企業勤めから、なぜ今丹波に移住し株式会社口果報を設立し、農業にかかわるようになったかについてお話して頂きました。すばる福祉会の卵と食パンや西岡さんが運ぶ野菜は、土曜日の六甲おーかにつく市でも販売しております。生産者のみなさん農塾にてお話を聞かせて頂きありがとうございました。

土曜ティーサロン

海外の楽しく学べるお話を聞いて、お茶を飲みながら語り合うひとときです。9月は石川弘海さん(神戸市灘区在住)が「アイルランド・ダブリンの歩き方～動乱の歴史とコロナ禍の今」、10月は森井久美子さんが(豊中市在住)「わたし



9月 石川弘海さん 10月 森井久美子さん 11月 森崎和夫さんの愛しのソビエト、そしてロシア」、11月は森崎和夫さん(学生センター古本市ボランティア)が「韓国各地の歩き方～レチャランで韓国各地を歩きまわる」をテーマに、コロナ禍の現状や数十年前の御自身の体験談など、大変貴重なお話を聞かせて下さいました。ありがとうございました。土曜ティーサロンは第1土曜日の午後2～3時にウエスト100の会議室にて開催(1月5月8月は休み)。たくさんのお参加お待ちしております。

定期利用

グループ・教室のご案内

- ◆からむい会(絵更紗) 第2・4木曜日 後0～4:00
連絡先・小塚 078-731-3694
- ◆すぎなコーラス 月曜日・前10～12:00
連絡先・大谷 078-861-0338
- ◆神戸女声合唱団 金曜日・前10～12:30
連絡先・谷山 078-783-8665
- ◆創作アップリケ 第2・4月・金曜日・前10～12:00
第2・4金曜日・後1～3:00
柏原先生 078-821-4632
- ◆ノイエカンマーコール(混声コーラス) 土曜日・後5～9:00
連絡先・西山:080-5704-5406
- ◆ヨガ体操 火曜日・前10:00～12:00
廣瀬先生 078-851-8851
- ◆こうべこーる恵(コーラス) 第3火曜日・前10～12:00
連絡先・金山 078-851-6487
- ◆全珠連会員・熊内そらぼん六甲教室 月・後3～6:00、火・後3～7:00、土・後2～5:00
奥野先生 078-241-1095
- ◆テコンドーアカデミー・武哲館道場 毎週金曜日・後7～9:00
妹尾先生 070-1046-1575
- ◆実践空手道場稽古会 毎週月曜日・後4～9:00
藤本先生 078-842-5669
- ◆すずめの学校(ニューヨークタイムズ紙を読む会) 第2・4金曜日 前10:00～12:00
連絡先・三田 090-7092-6903
- ◆前田書道会 第1・3火曜日・前9～後3:00
前田先生 078-385-1650
- ◆音楽の社(リトミックピアノ教室) 土曜日・前9～後5:00
桂先生 078-891-3419
- ◆Rokko kids English Club 木・金 幼稚園クラス・親子クラス
山本先生 078-585-9328
- ◆東神戸トーストマスターズクラブ 第4土曜日 後1～5:00
連絡先・高橋 090-8160-2389
- ◆崑曲勉強会 第3日曜日 後1～5:00
連絡先・村田 078-806-8243
- ◆神戸フィラデルフィア教会 聖書の会 日曜日・前10～後1:00
連絡先 078-871-9192
- ◆公文阪急六甲駅前書写教室 水曜日・後3:30～8:00、土曜日・前9～後1:00
高田先生 080-4485-7877
- ◆居空間RoCoCo 火・水・木
連絡先 070-5346-6550
- ◆あんだんてKOBÉ 第2・4日曜日・後1:30～2:30
連絡先 078-203-3625
- ◆親子で手しごと「いいねっこ」 第2土曜日・前9時～12時

お問合せやお申込は、各グループ・教室に直接ご連絡ください。

※当センターへの寄附金は、①所得控除または②税額控除が受けることができます。賛助会費、六甲奨学基金募金の両方に適用されます。詳しくはセンターにお問い合わせください。

賛助金・六甲ウィメンズハウス募金

2022.8.26~11.30(敬称略・単位円)

Table listing donors and amounts for the Women's House fund. Includes names like 吉田敏子, 原田紀敏, 橋田計雄, etc., and a total of 135 items worth 1,433,000 yen.

賛助金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法
郵便振替 (01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)
備考欄に「賛助金」とお書きください。
銀行振込 三井住友銀行 六甲支店 0779663
公益財団法人 神戸学生青年センター 賛助金

六甲奨学基金

2022.8.26~11.30(敬称略・単位円)

Table listing donors and amounts for the scholarship fund. Includes names like 西定春, 牛尾武博, 窪田実美, etc., and a total of 37 items worth 192,000 yen.



六甲奨学基金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000
※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。
※送金方法
郵便振替 (01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター)
備考欄に「奨学金」とお書きください。
銀行振込 三井住友銀行 六甲支店 0779651
公益財団法人 神戸学生青年センター 六甲奨学基金

毎月募金会計 27,000 円 (千円：菱木康夫、金早雪、高仁宝、信長正義、信長たか子、飛田雄一、三千円：白川豊)
古本市による協力 433,254 円 総計 652,254 円 以上感謝をもって領収いたしました。

セミナーの記録

食料環境セミナー

9月17日「農業再評価とみどりの食料システム戦略の問題」星信彦さん
10月15日「永遠の化学物質PFASの環境汚染リスクとどう向き合うか」小泉昭夫さん
1月19日「有機の里 丹波市が抱えるごみ減量化問題～そのゴミは本当にゴミなのか～」前川進介さん

第25期農塾

生産者のお話と農産物の販売
9月3日西定春さん
10月1日大岸靖則さん
11月5日西岡直哉さん

ろっこうおーがにつく市

非営利団体くらしの中のおーがにつく(共催)
毎週土曜日 野菜他の販売と交流会

朝鮮史セミナー

「兵庫の朝鮮人の歴史をとともに学ぶ一朝鮮人強制連行の現場・甲陽園地下壕発見から35年～」

10月27日「鄭鴻永さんの甲陽園地下壕発見、その後」徐根植さん
11月10日「戦前(解放前)の兵庫における朝鮮人労働者の闘い」堀内稔さん

朝鮮語・韓国語講座

夜初級1 毎週火曜日 尹智香さん
夜上級 毎週木曜日 尹智香さん
昼初級2 毎週金曜日 鄭京淑さん
応用 毎週金曜日午前 林賢宜さん

林賢宜さんの韓国料理教室

9月3日 いかフェ・宮廷トッポギ
10月1日 えごまの葉のしょうゆ漬け・韓国のみそチゲ
11月5日 干し明太魚の和え物・じゃがいも入りすいとん

六甲奨学基金

日本語サロン 毎週月・土曜日
1月22日～古本市常設開催

土曜ティーサロン

9月3日「アイルランド・ダブリンの歩き方」石川弘海さん

10月1日「ロシア・モスクワの歩き方」森井久美子さん
11月5日「韓国各地の歩き方」森崎和夫さん



2022.9.1~11.30

その他のセミナー・行事

10月29日はんてんの会「『豊かな海づくり』の欺瞞」末田一秀さん(共催)
11月19日高作先生と学ぶ会「米軍基地の環境問題と表現の自由」高作正博さん

灘チャレンジ2022

阪神淡路大震災時、ボランティア活動をおこなった神戸大学の学生が中心になって1995年に始まりました。「淡路大震災から始まった神戸市灘区の復興祭」です。「震災継承だけでなく、障がい者や野宿者などの社会問題にも焦点を当てつつ、毎年お祭りの開催を続けてきました。また、長年会場としている都賀川公園で水難事故が起きてからは、再発防止に向けた継承活動も行っています。さらに、長年灘区に根付いた活動を行う中で、お祭りを通して普段出会えない人々が出会う/知り合うきっかけの場としての役割を持つようにもなっています」(ホームページより)。毎年、六甲奨学基金の古本市も、開いていただいています。コロナ下、制限された灘チャレンジとなりましたが、都賀川公園で開催されました。



9.18 灘チャレンジ2022